

地域創成科学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、水資源や食料生産、環境保全等の役割を担ってきた農山村地域の保全・再生、持続的発展に向けて、生物多様性や生態系に配慮した土地利用方法、地域防災や農業基盤に関連する保全・管理技術、環境アセスメント手法や環境教育・地域マネジメント手法等の幅広い専門的能力とその運用法を習得し、地域の創成に貢献できる人材を養成する。

2. 教育目標

本学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 自然環境、生活環境および社会環境の関わりについて広い知識と豊かな感性を有する者
- (2) 観察力、論理的思考能力、高い倫理観を有し、フィールドにおける多様な課題の解決に向けて積極的に行動できる者
- (3) 生物文化多様性や土地・社会資本の保全、地域振興等の観点から持続可能な地域の創成に貢献できる者

3. ディプロマ・ポリシー

地域創成科学科は、水資源や食料生産、環境保全等の役割を担ってきた農山村地域の保全・再生、持続的発展など、地域の創成に貢献できる人材を輩出するため、所定の単位を修得し、卒業論文を提出することを学位授与の要件とするとともに、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 自然科学、人文社会科学に関する幅広い教養的知識と地域創成科学に関する専門知識・技術を修得している。
- (2) 地域創成科学に関わる諸問題に興味・関心を持ち、その問題を多面的に捉え、解決に導くための論理的思考能力を修得している。
- (3) 持続可能な地域社会の創成に向けて、高い倫理観に基づき、知識や技術を応用できる能力を有するとともに、他者と協力しながら仕事を進めていくためのコミュニケーション能力を有している。
- (4) 本学科が定める履修モデルにしたがって講義・実習科目を修めるとともに卒業論文に取り組むことにより所定の単位を修得し、卒業判定考試に合格している。

4. カリキュラム・ポリシー

地域創成科学科は、講義科目や実習演習科目だけでなく、フィールドでの実習にも重点を置いた専門教育のもとで、土地利用、地域防災、環境教育、地域マネジメント等に関する幅広い専門能力を修得し、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を身につけるため、以下の方針のもと教育課

程を編成します。

- (1) 地域創成科学を理解し学習の動機づけをねらいとする科目から構成される「専門基礎科目」と、生物多様性や生態系に配慮した土地利用方法、地域防災や農業基盤に関連する保全・管理技術、環境教育や地域マネジメント手法、それらを横断的に理解するための情報技術や環境アセスメント手法からなる「専門応用科目」を配当する。
- (2) 「専門基礎科目」および「専門応用科目」で学んだ専門知識・技術を運用し、持続可能な地域づくりを考究するための総合化科目を配当する。

5. アドミッション・ポリシー

地域創成科学科は、広範囲におよぶ農山村地域を対象として課題を解決するため、本学部の教育研究において数十年に亘って培ってきたノウハウを結集させ、林学・農業工学・造園学を融合した新しい教育研究システムを学ぶことによって、地域環境科学に関連する幅広い専門的な知識と技術を身につけ、それらの知識・技術を運用できるマネジメント能力を持った「地域社会の担い手・リーダーとなる人材」を育成します。そのため、次のような学生を求めています。

- (1) 地域づくりに強い好奇心・関心を持っており、それに関連する専門知識や技術を修得するための基礎的学力を有している。
- (2) 持続可能な地域づくりに向けて、広い視野を持ち、他者と協力して積極的に行動することができる。